

要望手続きについて【補足資料】(研究補助) (※□は「補助方針」及び「交付要望書作成の手引き」のページです)

項 目	注 意 事 項 の 抜 粋
<p>手続きの流れ</p> <p>補助率と上限金額</p> <p>補助の対象者</p> <p>交付条件</p>	<p style="text-align: center;">2021年度 補 助 方 針</p>
	<p>(P.2) 3. 補助事業の手続き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要望の手続きは、①と②となります。</li> <li>・ ④採否通知については、2021年3月下旬頃予定 → (P.8) 16. 採否の通知 参照</li> </ul> <p>なお、2021年4月に事務手続説明会を実施する場合、交付決定通知は事務手続説明会でお渡しする予定です。</p> <p>→ (P.8) 17. 補助事業事務手続説明会への出席 参照</p>
	<p>(P.4) 補助事業の補助率と上限金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※6 機械の振興に資する研究が対象となります。</li> </ul>
	<p>(P.5) 7. 補助の対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「大学等研究機関に所属し、当該組織の研究活動に実際に従事している者」が補助の対象者として申請できます。</li> <li>→ 大学等研究機関とは…大学（短期大学含む）、大学共同利用機関法人、高等専門学校</li> <li>→ 研究に従事している者とは…大学院生等、学生は含みません。申請には所属機関の所属長による了承が必要です。</li> </ul> <p>(P.6) 8. 補助の対象外となる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年度複数年研究の補助を受けた者</li> </ul> <p>(P.8) 18～21. 交付条件の記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>18. 補助事業である旨の表示</li> <li>19. 補助事業の実施内容及び成果の公表</li> <li>20. 補助事業の評価</li> <li>→ アンケート、ヒアリング、補助事業の成果に関する追跡調査等にご協力いただく場合があります。</li> <li>21. 情報公開の実施</li> </ul>

<p>補助の対象となる事業</p>	<p><b>(P. 12)</b> 補助の対象となる事業について</p> <p>① 個別研究（上限 500 万円 研究期間 1 年）</p> <p>② 若手研究（上限 200 万円 研究期間 1 年 若手とは研究に従事して概ね 15 年以内の研究者）</p> <p>③ 開発研究（上限 1500 万円 研究期間 1 年 新技術または新製品の实用化を目的とする研究）</p> <p>④ ステップアップ研究（上限 1000 万円 研究期間 1 年 過去 5 年に採択された研究の発展を目的とする研究）</p> <p>⑤ 複数年研究（上限 500 万×2 年 2 年目の継続に際して審査有）</p> <p>※重複要望は不可です。詳細は補助方針本文をご確認ください。</p>
<p>事業経費の基準</p>	<p><b>(P. 22~23)</b> 補助事業の事業経費の基準</p> <p>・ 2021 年度から対象経費となったもの</p> <p>① 事務管理費（補助申請額の 5%以内）</p> <p>→間接経費は対象外です。</p> <p>間接経費（経理事務費用）の免除申請がある場合は対象とはなりません。</p> <p>② WEB 情報発信関係費等</p> <p>→当該事業の情報を WEB 発信するための経費で、恒常的な HP 管理費、保守費は対象となりません。</p>

## 2021年度版 機械振興補助事業の交付要望書作成の手引き

### (P.1) 補助金交付要望の申請にあたっての注意事項

- ・ 要望の流れは、1. 事業者登録 → 2. インターネット申請 → 3. 書類の郵送 それぞれ期限厳守です。
- ・ 1. 事業者登録・・・平成29年（2017年）度以降の補助事業において登録済の場合は不要です。
- ・ 2. インターネット申請・・・「2021年度版 交付要望 ネット手続きガイド」を参照。
- ・ 3. 書類の郵送・・・簡易書留で提出して下さい。
- ・ 書類は全てA4片面印刷とし、書類の紛失防止のため2つ穴を空け、綴じ紐で綴じてください。

### (P.2) 申請に必要な書類について

- ① 要望書類・・・「JKA 補助事業」HPから下書きシートをダウンロードし、データを入力後、事業者フロントでアップロードし、確定すると作成される書類です。→ (P.13~16)
- ② 関連書類・・・「補助金要望申請に係る了承証明書」に押印いただく所属長は、直属の上席の方で構いません。「JKA 補助の実績」はステップアップ研究のみ必要です。(P.37)
- ③ 添付書類・・・紙ベースで提出する書類です。  
論文は、多く出していただく必要はありません。代表的な研究の論文を1~数編ご用意ください。  
→ (P.40) 提出書類チェックシートをHPからダウンロードして、書類に不足がないか確認して下さい。

### (P.3) 下書きシートについて

- ・ 下書きシートは「基本情報」と「事前計画」の2種類です。
- ・ 下書きシートは必ず **2021年度版** を使用して下さい。

### (P.3~4) 下書きシート「基本情報」について

- 1 発翰番号・・・入力不要です。
- 6 補助事業名・・・下書きシートでは入力できませんが、下書きシートをアップロードした後の編集画面で 補助事業名を編集して下さい。  
→ 「2021年度版 交付要望 ネット手続きガイド」 P46 参照。
- 17 以降の連絡先・・・ご提出いただいた要望書類について、こちらから問い合わせをする際にご回答いただける方、もしくは窓口になっていただける方の連絡先をご記入ください。

申請書類

① 要望書類

下書きシート  
(基本情報)

下書きシート  
(事前計画)

**(P. 5)** 事業コードについて

- ・システムで基本情報を入力する際に必要です。「事業経費表」でもこのコードを使用します。
- ・事業コードは修正ができないため、間違えますと全て最初から申請のやり直しが必要となります。

**(P. 6)** 下書きシート「事前計画」について

- ・補助事業の審査はこの「事前計画」を基に行います。
- ・簡潔にわかりやすく、過不足なく情報を盛り込んで下さい。「補完資料で説明」は不可です。

**(P. 7~9)**

- 2 事業項目名・・・基本情報6と同じ名称（「当該事業に見合った名称」）で構いません。
- 5 事業費総額・・・システムの都合上、入力不可。
- 6 補助対象経費総額・・・「事業経費表」で該当する数字と一致していることを必ずご確認ください。
- 7 補助金交付要望額・・・ //
- 8 種別・・・必ず（1）新規（2）複数年度要望のいずれかを選択。
- 17~19 委託調査・・・研究に委託調査はありませんので17は「無」を選択。
- 23~29・・・採択の審査に重要な項目ですので、過不足なく記入して下さい。
- 31 実施体制・・・共同研究者がいる場合は、ここに書いてください。共同研究者は所属先で購入物品を使用することが可能となりますが、謝金支払対象者にはなりません。
- 32~37・・・P. 45 参照。
- 38~40・・・事業を実施した結果を情報発信するための指標、目標値、具体的内容を記入してください。
- 41~43・・・競輪・オートレース補助金の事業であることを情報発信するための指標、目標値、具体的内容、注意事項に記載の 1. と 2. の視点でご入力ください。広報計画やその媒体を選んだ理由を具体的にご記入ください。

**(P. 10~11)** 事業形態コード表・公益目的事業について

研究内容に合致すると思われる番号を選びます。機械の振興に資する事業でも公益目的事業の選択は必要です。

②関連書類

事業経費表

**(P. 13~16)** インターネットによる申請で、ダウンロードできる申請書類

①要望書類のうち、事業者フロントでダウンロードできる申請書類についての見本です。

こちらの完成した書類がHPからダウンロードできるようになっています。

P. 13「交付要望書」の※1で「自転車等」か「小型自動車等」を選択します。どちらを選択しても同様に取り扱われます。

**(P. 17)** 関連書類について

・ P20 補助事業の概要・・・事業の実施予定表のみ、作成してください。

・ P31～事業経費表・・・HPより該当書類をダウンロードしてください。

入力手順は、ダウンロードしたシートの右側に注意事項として記載されているので手順どおりに作業してください。

項目が増えた場合は行を追加いただいて構いませんが、数式を必ずコピーしてください。

**※以下の記載内容については事業経費表作成後のチェック作業の際の確認用としてご覧ください。(P. 31)**

① (注1)「事業コード」・・・一行目コードの選択は、「交付要望書作成の手引き」P5「事業コード表」を参照。  
コードを選択すると「補助率」が自動的に表示されます。

② 二行目の研究者名、及び、三行目の補助事業名を入力してください。

③ (注2)「費目・節」・・・補助方針P. 22～23の「経費基準」をもとに費目(A列)、節(B列)を入力してください。  
A列、B列ともプルダウン選択となっております。  
B列は節の合計値を自動出力させるため、各節の一番上の行だけ入力してください。

④ (注3) 補助金・補助対象経費(C列)は数式が入っているので、入力しないでください。

⑤ (注4) 内容・算出基礎／事業費総額

D列に支出内容、E列に算出根拠を入力します。(一行二列で1セット)

E列には単価と単位の掛け算を入力します。「人」「回」「kg」などの単位を付けて入力してください。(漢数字は非対応)。合計は自動計算されます。

⑥ (注5) C列「補助金補助対象経費」最下行(F行)の金額とP7のNO. 6、7の金額と一致を確認してください。  
→P7No. 6、7の金額は申請後は訂正ができません。

複数年研究は、1年目2年目の上限金額を500万として、それぞれ作成してください。

了承証明書	<p><b>(P. 33~35)</b> 補助金要望申請に係る了承証明書</p> <p>1. 所属機関長の了承・・・研究者の所属大学の直属の上司、もしくはより上席の方の署名と印をもらってください。</p> <p>3. 共同研究者・・・・・・・何人かいる場合は入力欄をコピーして下に続けてください。</p> <p>5. 研究テーマ・・・・・・・書き込みが増えて枠が縦に伸びることは問題ありません。</p> <p>所属長の署名、押印のあるものを PDF 化し、事業者フロントにアップロードします。</p>
補完資料	<p><b>(P. 36)</b> 補完資料</p> <p>A4 横 8 枚以内で、PowerPoint、Word、Excel のいずれかでプレゼン資料を作成してください。</p> <p>複数年研究・・・・・・・1 年ごとの達成目標を明示。1 年目の目標が未達だった場合の修正・修正方針も記載。経費と内容も 1 年ごとに区分けをしてください。</p> <p>開発研究・・・・・・・新技術または新製品の实用化について明確に記載してください。</p> <p>ステップアップ研究・・・補助対象の根拠となる研究補助の成果と今後の発展を具体的に記載してください。</p>
補助の実績	<p><b>(P. 37)</b> JKA 補助の実績（ステップアップ研究のみ）</p> <p>2015 年度～2019 年度の個別研究もしくは若手研究、2018 年度の複数年研究のうち、対象となる事業を記入してください。</p>
<b>③添付資料</b>	<p><b>(P. 38)</b></p> <p>反社会的勢力でないことの誓約書・・・・ホームページよりダウンロード可能です。</p> <p>研究者本人が直筆署名のうえ押印してください。</p>
補助事業の評価	<p><b>(P. 41~42)</b> 評価について</p> <p>事業完了後に成果を評価しますので、自己評価のための事前計画を P. 45 の記入例を参考に下書きシートに入力します。</p> <p>この内容は下書きシートをアップロードした後にダウンロードできる「事前計画/自己評価書 (3/5②)」の「達成目標」欄となります。</p>
成果の公表	<p><b>(P. 48)</b> 実施内容及び成果の公表について</p> <p>補助事業にて研究された内容は、研究者のホームページで公表していただきます。</p>
<p>このほか、不明な点がございましたら「補助事業ホームページ」トップページ上部「よくあるご質問」や「2021 年度版交付要望 ネット手続きガイド」の「困ったときは (FAQ)」(P. 87~) をご覧ください。</p>	